

【資料目録】

藤崎森吉氏収集資料 I 「堤仁志資料」

〈解題〉

中牟田 寛也 (伊都国歴史博物館)

1. 資料の概要

当資料は、明治～昭和初期にかけて旧二丈町深江（現糸島市二丈深江）の藤崎森吉氏が収集した資料群のうち、堤仁志氏所有となっていた分である。

藤崎森吉氏収集資料は、糸島地方の中世～近現代にかけての古文書・歴史資料を中心として構成され、中でも江戸期以来、筑前国怡土郡深江に住した堤家に関する史料が大部分を占める。堤家は江戸期には深江を中心に怡土郡西部の中津領内の庄屋・大庄屋などを務め、近代には戸長等を歴任している。また、堤家関係資料の他にも、南北朝期の深江氏に関する文書の写、戦国期の原田氏発給文書なども含まれ、近代の藤崎氏関係資料なども確認できる。

このうちの一部については、従来「藤崎文書」として知られている。福岡県文化会館『福岡県古文書等所在確認調査報告書』（1977）、福岡県立図書館『福岡県立図書館収集文書目録』第1輯（1986）、同第3輯（1993）には「藤崎（マ）文書」として収載されているが、これらの目録に収載されていない資料も多数に上る。

同資料は藤崎森吉氏から息子の松城生氏、さらにその妻マリ子氏の手に伝えられていたが、平成18年に藤崎マリ子氏より、『福岡県立図書館収集文書目録』第1輯・第3輯収載の藤崎（マ）文書および同（追加）132件に該当する資料を含む一部の資料が堤家子孫にあたる仁志氏の手に渡った。

堤仁志氏所有にかかる資料は、中世から近代にかけての古文書・古記録類148件454点で、このうち、144件447点が平成26年度に同氏より伊都国歴史博物館へ寄贈された。4件（整理番号86、95～97）の資料については、同氏の強い希望により継続保管されることとなったが、定期的に状態確認をさせていただくことで合意した。

注目すべき資料としては、中世資料に南北朝期の深江氏に関する宛行状等の写を成巻した〔深江文書〕（1、数字は整理番号、以下同）、戦国期の

原田了栄宛行状（3-5）など、また近世庄屋関係資料、近代の行政資料が豊富で、時期により密度の差はあるものの近世から近代にかけての地方の実態を断続的に追うことができる点で重要である。他にも、幕末～明治期にかけての政治情勢に関する資料などもあり、興味深い情報を提供する。

なお、藤崎森吉氏収集資料については、堤仁志氏所有分以外に藤崎家に残されたものも多数存在し、藤崎マリ子氏息女坂本こずえ氏所有となっている。これらは従来の目録類には収載されていないものの、本来一体的に扱われるべき性格のものである。伊都国歴史博物館は、これらについても坂本氏より寄贈を受け、目下整理作業を進めているところであり、近く目録化を期している。両者を併せて見ることで、一層研究の進展が期待されるところである。

当資料は、その大部分を堤家由来のものが占めるのは確かであるが、明らかに出所が異なるものも含まれるほか、資料群中で堤家由来のものか否か明確な線引きを行うことは困難である。利用にあたっては資料的性格を踏まえた上で慎重に用いられたい。

2. 堤家について

〔堤家系図〕（86）によると、堤氏は中世、肥前国松浦郡の波多氏の家臣であったといい、近世、小七郎（吉房）のとき怡土郡深江の空閑（久我）家へ養子となり、後に別家して堤を称したという。元禄元年（1688）の覚（3-3）には「深江村代々庄屋空閑藤九郎吉俊」と見え、前掲堤家系図に見える（堤）藤左衛門吉俊の事かと思われる。以降、藤左衛門・小七郎・助右衛門などの名乗りが見え、中津領深江村庄屋・深江組大庄屋などを務めている。空閑家とはしばしば養子を出し合うなど、密接な縁戚関係にあり、当資料群には空閑家に関する資料も散見される。

近代、堤小七郎（吉綱）は、明治5年（1872）深江村戸長、第三十四区戸長、同6年第十六大区戸長に任じられ、同7年には福岡県出仕、地租改正懸となり、同10年に辞した。同11年には県会

議員に選出されている（〔堤小七郎辞令綴〕95）。その子雄三郎氏は堤仁志氏の祖父に当たる人物で、堤仁志氏によると雄三郎氏の時に堤家は深江を離れており、伝来の古文書類も親交のあった藤崎森吉氏の手に渡ったものと見られるという。

3. 資料の現状と整理

(1) 現状

資料の大半は「藤崎文書（史料番号）」と記入された福岡県文化会館の封筒（以下「県封筒」）に1点ないし数点ずつ整理されており、資料にも「藤崎文書（史料番号）」のラベル（以下「県ラベル」）が貼付されていた。福岡県古文書所在確認調査における付番と思われ、基本的には『福岡県立図書館収集文書目録』（以下『県目録』）の番号と一致する。加えて、番号「1～130」および「書1～20」とラベリングされた資料が確認された。ただし「書15」「書18」は確認できず、また『県目録』123と（追加）2は同一資料の重複であることが確認されたため123に統一した。さらに『県目録』（追加）1と（追加）3は、それぞれ「書19」「書20」のラベルが貼付された資料に該当することが判明した。

また、資料には藤崎森吉氏の筆になるメモ書や付箋が付されているものもある。

(2) 整理の方針

現状および『県目録』との対照の便を踏まえ、原則として『県目録』の番号を踏襲した整理番号を付した。ただし当時の付番や『県目録』の明らかな誤り、ラベルは貼付されないものの「県封筒」で一括され『県目録』で「他●点」とされるなどしていた資料等については枝番を付すなどの作業を行った。その際の配列は、昭和59年（1984）福岡県立図書館撮影のマイクロフィルム（同館所蔵）の配列を参照した。また、『県目録』第1輯収載の130番以降、同第3輯収載の（追加）1、3の二点は131、132を付し、目録未収載の資料16点は133以降の番号を付した。一部、「県封筒」－「県ラベル」－『県目録』の対応関係に疑義のある資料が確認できたが、その場合は適宜資料内容を踏まえ採用する番号を判断、又は枝番の付与等による対応を行った。

整理番号の付番と共に、各資料について調査カードを作成し、資料については中性紙封筒へ移

し替えを行った。この時、資料の各項目の内容は『県目録』を参照したが、実物の調査の上、より妥当と思われるものがある場合は一部改めた。

(3) 課題

本資料は、大部分については県の調査時の整理体系・秩序が維持されていたものの、一部に、異なる封筒間の移動やその事が疑われる事例が確認された。また、「県封筒」ないし資料自体に二・三種類の筆跡で、鉛筆等による書入れが多数見受けられた。

これらについては、適宜前掲マイクロフィルムを確認し、県の調査・整理時以前または以後の操作であるか極力追跡を試みたが、残念ながら一部判断不能のため現状に拠ったものもある。

〈凡例〉

- ・本目録は、藤崎森吉氏収集資料のうち、堤仁志資料について掲載した。
- ・配列は、整理番号の順とし、年代や性格分類等による並び替えは行っていない。
- ・字体は基本的に常用のものを用いた。
- ・福岡県立図書館『福岡県立図書館収集文書目録』第1輯（1986）「藤崎（マ）文書」および同第3輯（1993）「藤崎（マ）文書（追加）」との対照の便を図るため、「県目録番号」の項目を設け付記した。
- ・資料群としての秩序維持を図るため、堤氏保管の4点についても整理番号を付与した上で、所管の別を明示するため斜字体及び網かけで掲載した。また、表の左側に、伊都国歴史博物館へ寄贈された資料については通し番号を付し、堤氏保管分は「●」の記号を示した。
- ・整理番号、県目録番号、名称、年代・日付、差出・作成、宛所、形態、数量、法量、備考の項を設けた。
- ・記載の文字が虫損・破損等で不明の場合は□とし、判読不能の場合は■とした。
- ・名称は、原則として、中世の古文書は古文書学的名称に依った。近世以降の資料は、資料に記載された標題等を採用し、記載のないものについては適宜[]で仮題を付した。
- ・年代・日付、作成・差出、宛所で、内容により推定できるものについては()で記載し、一部※で註を付した。
- ・年代・日付は算用数字に直して記載した。
- ・法量の単位はセンチメートルとし、縦×横の順で記載した。
- ・備考において、資料が整理されていた封筒を「県封筒」、添付されていたラベルを「県ラベル」と略記した。
- ・資料の整理・目録作成は、石畑匡基（九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程）と中牟田が共同で行い、目録の体裁は中牟田が整えた。また、整理にあたり村上敦（伊都国歴史博物館）、山本隆一郎（九州大学人文科学府博士後期課程）の助言があった。

整理 番号	県目録 番号	名称	年代・日付	差出・作成	宛所	形態	数量	法量 (縦×横)	備考
1	1	[深江文書写(成巻)]				卷子(継紙20枚、 内墨付10枚)	1巻	32.3×797.0	1-1~11まで11通を 一筆で写す/巻緒・表紙 外れ/藤崎氏筆ペン書 紙片有
1	1-1	仁木義良宛行状写	建武3年6月30日	源(仁木義良) 在判	深江六郎太郎				筑前国老子村
2	1-2	沙弥某宛行状写	建武4年2月2日	沙弥(花押影)	原田六郎太郎				筑前国深江庄
3	1-3	一色道猷施行状写	建武4年3月20日	沙弥(一色道猷) 御判	深江六郎太郎				越前国金崎城凶徒今月 6日誅伐
4	1-4	一色道猷軍勢催促状写	建武4年7月27日	沙弥(一色道猷) 在判	深江六郎太郎				菊池武重以下凶徒蜂起
5	1-5	深江種重申状写	貞和6年10月 日	(深江十郎次郎種重)	—				深江庄
6	1-6	深江種重軍忠状写	正平子4年8月 日	(深江大藏允種重)	—				去年豊後御発向以来/奥 に証判「承了(花押影) (少式頼澄)」有/正平14 の誤カ
7	1-7	深江種重申状写	観応2年3月 日	(原田深江十郎次郎種重)	—				
8	1-8	沙弥某宛行状写	観応2年11月15日	沙弥(花押影)	深江十郎次郎				筑前国深江庄
9	1-9	深江種重關所注文写	観応2季12月 日	(深江原田十郎次郎種重)	—				深江庄内太郎丸名他
10	1-10	洪川義行軍勢催促状写	貞治5年7月19日	武蔵守(洪川義行) 在判	深江掃部助				今度凶徒退治につき
11	1-11	今川貞臣書下写	康応元年5月10日	散位(今川貞臣) 御判	太(㊦)宰少式(少式貞頼)				筑前国怡土庄深江内
12	2	筑前国中古城記録	元禄甲戌(7年)7月	貝原久兵衛篤信書(朱印) ※奥書による	波多江 ※奥書による	卷子	1巻	36.1× 1143.6	貝原篤信(益軒)奥書有
13	3-1	[寛書]	寛文2年2月14日	空閑善左衛門(花押)	同助左衛門	継紙 前欠	1通	14.1×297.5	3-1~6まで1巻に取 める/蓋付木箱入、箱に 付紙あるも破損/ 前欠/継目裏黒印有
14	3-2	寺沢正成宛行状	慶長13年正月3日	志摩守(寺沢正成・広高) (黒印)	深江村 善左衛門	切紙	1通	14.2×22.3	庄屋給
15	3-3	寛	元禄元辰ノ 月吉日	深江村代々庄屋空閑藤 九郎吉俊(花押)	深江村宝満天神両社宮 司俊了坊	継紙	1通	17.4×83.6	深江村宝満宮請持寺院 書上
16	3-4	[御書付]	(江戸期)卯11月	—	淀川組深江村庄屋堤小 七郎	継紙	1通	16.1×34.4	塩屋町土橋此節石橋架 橋、奇特の至
17	3-5	原田了榮宛行状	天正7年12月13日	(原田)了榮(朱印)	上原喜介	折紙	1通	23.7×38.4	志摩郡之内
18	3-6	原田信種加冠状	天正15年2月1日	(原田)信種(花押)	上原惣三郎	縦紙	1通	23.8×38.7	加冠 久豊
19	4	御掟法	貞享4丁卯10月	奉行		継紙	1点	26.4×485.5	宗門檀那諸合等/表紙裂 外れ
20	5	氏三宛行状写	文明8年3月9日	氏三(花押影)	淀河新二郎	切紙	1通	15.8×31.2	肥前三根郡石井庄 /裏打有
21	6	[深江村明細書上帳]	元禄16年末9月	深江村大庄屋小七郎・同 村名頭基七(他18名)	秋野次右衛門	縦帳	1冊	27.3×20.7	付紙数ヶ所(一部剥離)/ 藤崎氏筆メモ綴同封
22	7	手鑑	享保6年丑ノ朔月	—	—	小横帳	1冊	13.6×20.7	深江村権六殺害一件等
23	8	[松末村絵図]	(江戸期)	—	—	一舗 彩色	1舗	107.2× 130.4	元禄4年以前の松末村 (及び片山村)/裏にペン 書「公領時代松末村絵 図」
24	9	[深江村・片山村秣場等 入会絵図]	嘉永元年戊申年6月2 日 ※裏書証文による	筑前国怡土郡対州領 吉 井村大庄屋橋崎専六(黒 印)・片山村兼帯庄屋田 中右五郎(黒印)(他20名) ※裏書証文による	—	一舗 彩色	1舗	199.4× 182.8	貞享4年3月作成絵図の 再調製/裏書証文有(対 州領片山村・中津領深 江村他村役人連署)/10 ・11と関連
25	10	乍恐書付以御訴訟申上 山論之御事	貞享3年寅	筑前国怡土郡片山村庄 屋弥市左衛門(黒印)・ 同村名頭又八(黒印)・ 同村惣百姓代惣左衛門 (黒印)	御奉行所	継紙	1通	30.4×185.6	裏書有/付紙(近代)有/端 裏に付箋「(朱書)第志 号」、ペン書「片山由 り一ノ原論争申立書」 /9・11と関連
26	11	筑前国怡土郡御公料服 部六左衛門様御支配所 片山村と松平和泉守様 御知行所同国怡土郡深 江村山論此度和談ニ付 而取替シ申定書証文之 事	貞享4丁卯年3月23日	筑前国怡土郡松平泉守 様御知行所 深江村大庄 屋藤九郎(黒印)・同村惣 百姓代新右衛門(黒印)・ 同所町分庄屋治平(黒印) (他12名)	筑前国怡土郡御蔵入服 部六左衛門様御支配所 東村大庄屋中将・片山 村庄屋弥市左衛門・同 村名頭又八郎(他3名)	継紙 継外れ有	1通	30.5×190.4	付紙(近代)有/端裏に付 箋「(朱書)第式号」、 ペン書「解決書類」/9 ・10と関連
27	12	[松末村・田中村境図]	天保14年癸卯 ※裏書証文による	筑前国怡土郡対州領田 中村 莊屋田中右五郎(黒印) (他4名)/(奥書)御料怡土 郡總代莊屋東村文助(黒 印) ※裏書証文による	筑前国怡土郡中津御領 松末村 莊屋蒲地平次兵 衛・同村惣御百姓衆中 ※裏書証文による	一舗	1舗	90.1×67.4	此度境杭打立/中津領松 末・対州領田中境
28	13	[深江鳥瞰図]	(近代カ)	—	—	一舗 彩色	1舗	47.2×65.1	北(片山)側より描く/鉛 筆書入有
29	14	[深江村絵図]	(近代、明治22年以降)	—	—	一舗 彩色	1舗	218.6× 109.7	凡例有/表紙・裏表紙有 /方眼(メッシュ)書入有
30	15	奉拝借助合殺銀年賦証 文之事	天明2年寅正月	怡土郡片山村庄屋徳左 衛門(黒印)・同村組頭基 蔵(黒印)・同断半三郎(黒印) (他62名)/(奥書)怡土郡東 村庄屋内蔵助(黒印)(他6 名)	清島藤右衛門・壇田助 ・中村彦八郎(他2名)	継紙	1通	27.9×195.1	銀三貫目/去丑12月片 山村出火/端裏に付紙有 /継目裏黒印有
31	16	寛	寛政4年子9月	(深江村)庄屋治左衛門・ 同村年寄又左衛門・同村 惣百姓代惣平(他4名)	—	継紙 破損有	1通	26.2×139.8	作毛状況等「敵弘目録」 /袖破損/17と関連

	整理 番号	県目録 番号	名称	年代・日付	差出・作成	宛所	形態	数量	法量 (縦×横)	備考
32	17	17	覚	寛政4年子8月	(深江村)庄屋次左衛門(黒印)・同村年寄又左衛門(黒印)・深江村惣百姓代惣平(黒印)	—	継紙	1通	26.3×68.8	新田凶作につき/16と関連
33	18-1	18-1	[包紙]	(寛政6年寅12月)	—	—	包紙	1点	24.9×17.2	18-2の包紙/「証文 老通」
34	18-2	18-2	奉公人請証文之事	寛政6年寅12月	奉公人宅次(黒印)・親類喜七(黒印)・同断治吉(黒印)・請人儀介(黒印)・年寄新左衛門(黒印)	与左衛門	一紙	1通	25.0×37.2	卯正月より辰12月まで二ヶ年奉公
35	19	19	永楽帳	天保4年巳11(カ)月吉日	堤吉金(花押)	—	小横帳	1冊	8.2×15.7	唐津御産物仕組銀談一件の証文写、詰将棋等
36	20	20	御改革二付御俵約向	天保11年子4月	—	—	縦帳	1冊	25.6×17.4	達等の写
37	21-1	21	水論御裁許控	天保14年	—	—	書綴	1綴	24.5×17.8	2件(正徳4年大入・福井対堀・佐波水論、元禄4年福井村唐津領・御公科境絵図証文)写/21-2とこよりで合綴
38	21-2	21	取替申証文之事	元禄4未年8月26日	福井村名頭与七(他17名)・福井村大入組頭吉衛門(他8名)	御公科之内 福井村庄屋弥兵衛・大入村名頭彦四郎・同九郎左衛門・(他2名)	書綴	1綴	24.3×16.4	表題「取替証文事」、天保14年写/福井・大入・堀・真名子境/21-1とこよりで合綴
39	22	22	[覚書]	(天保15辰年)	—	—	縦帳	1冊	24.9×16.7	天保15辰7月2日入津本国阿蘭陀船乗組之人別等/紙幅不定
40	23	23	許状	天保9年8月	徳実齋	花江仙	卷子	1巻	18.2×179.2	東山流生花/外題有
41	24	24	一刀流兵法十二ヶ条	文久2年戌2月6日	富永忠助宜知(花押)(朱印)	堤小七郎	卷子 見返し破損	1巻	18.7×130.4	(見返し)「北筑深江住堤小七郎吉綱」/外題有
42	25	25	高水出控帳	嘉永3年庚戌6月朔日	—	—	縦帳 一部破損	1冊	25.0×17.6	大水被害
43	26	26	嘉永六丑七月長崎へ罷越候魯西亜船之次第手寄ヲ以聞取候分誌・同年六月浦賀表へ罷越候北亜墨理加船之次第	—	—	—	横帳	1冊	13.6×40.2	前後半で紙幅異なる
44	27	27	[覚書]	—	—	—	横帳	1冊	13.8×41.4	天保15辰7月2日長崎入津阿蘭陀船/藤崎氏ペン書き付紙有
45	28	28	乍恐以書附奉伺上御事	(江戸期)未11月	松末村御百姓惣代利三郎(黒印)・同村年寄忠治(黒印)・同断伴右衛門(黒印)・同村庄屋佐助(黒印)・久我次左衛門(黒印)	御役所	継紙	1通	24.6×57.6	無主地年貢につき
46	29	29	指出申証文之事	安政2年卯正月	目明清六(黒印)・受人源七(黒印)・同断善四郎(黒印)	堤助右衛門・濱屋利兵衛・木下利十郎	一紙	1通	24.4×35.6	借用証文
47	30	30	[神拜式許状]	嘉永5年4月17日	神祇伯資訓王(朱印)	三橋加賀藤原政英	折紙	1通	60.2×42.4	伯家神道/39と関連
48	31	31	宗旨受証憑之事	安政7年申2月	長野村庄屋満太郎(黒印)	片峯村御庄屋松藤多七郎	一紙	1通	24.3×33.5	宗旨受状
49	32-1	32-1~8	妊娠相改御届ケ申出ル事	(江戸期)巳8月	波呂村年寄専右衛門(黒印)・同村同断庄兵衛(黒印)・同村庄屋塩田重左衛門(黒印)	養育方利左衛門・同断利右衛門	一紙	1通	26.0×34.8 (包紙34.6×26.3)	県外*#32-1/包紙(県外へ*#32-1)「波呂村」有
50	32-2-1	32-1~8	出産御届ケ申出ル事	(江戸期)午12月	波呂村年寄専右衛門(黒印)・同村同断庄兵衛(黒印)・同村庄屋塩田重左衛門(黒印)	養育方利左衛門・右同断利右衛門	一紙	1通	26.4×35.0 (包紙35.0×26.1)	県外*#32-2-1/包紙(県外へ*#32-2)「波呂村」有/32-2-2と包紙で一括
51	32-2-2	32-1~8	覚	(江戸期)未正月	波呂村年寄専右衛門(黒印)・同村同断庄兵衛(黒印)・同村庄屋塩田重左衛門(黒印)	養育方利左衛門・同断利右衛門	一紙	1通	26.3×35.0	県外*#32-2-2/妊娠無き届出/32-2-1と包紙で一括
52	32-3	32-1~8	申上ル事	(江戸期)巳11月	専右衛門(黒印)・庄兵衛(黒印)・塩田重左衛門(黒印)	養育方利左衛門・利右衛門	一紙	1通	27.0×35.6 (包紙35.0×25.7)	県外*#32-3/妊娠無き届出/包紙(県外へ*#32-3)「松末村」有、もとは32-4の包紙カ
53	32-4	32-1~8	乍憚御届奉申上御事	(江戸期)巳8月	松末村庄屋佐助(黒印)	松国利右衛門	一紙	1通	25.9×15.3	県外*#32-4/妊娠無き届出
54	32-5	32-1~8	覚	(文政5年)午閏正月	波呂村年寄専右衛門(黒印)・同村同断庄兵衛(黒印)・同村庄屋塩田重左衛門(黒印)	養育方利左衛門・右同断利右衛門	一紙	1通	25.9×31.5	県外*#32-5/妊娠無き届出
55	32-6	32-1~8	[包紙]	—	長石村	—	包紙	1点	35.0×26.2	県外*#32-6/「出産御届并妊娠無之御届式通」「長石村」/32-7・8の包紙カ
56	32-7	32-1~8	覚	(江戸期)未正月	長石村年寄文右衛門(黒印)・同村庄屋藤五郎(黒印)	養育方利右衛門・右同断利左衛門	一紙	1通	26.3×35.2	県外*#32-7/妊娠無き届出
57	32-8	32-1~8	出産御届申出事	(江戸期)未正月	長石村年寄文右衛門(黒印)	養育方利右衛門・右同断利左衛門	一紙	1通	26.0×35.1	県外*#32-8/庄屋藤五郎女房該当につき署判無カ
58	33	33	払証憑	安政7申年正月	御料松浦郡馬川庄屋馬川島右衛門(黒印)	中津御領片峯村庄屋松藤多七郎	一紙	1通	26.4×29.8	養子につき宗旨払一札
59	34	34	和州浪士一件	文久3年亥10月	堤氏	—	横帳	1冊	12.2×54.7	和州騒動一件、天誅組/御役所引借用致写取
60	35	35	御寄附御姓名記	元治元年子7月	大宰府別当小鳥居	—	縦帳	1冊	24.1×16.4	日参講

	整理 番号	県目録 番号	名称	年代・日付	差出・作成	宛所	形態	数量	法量 (縦×横)	備考
61	36	36	御用状写	(元治元年)11月14日	(川添)和右衛門	応助・多仲太・与兵衛	継紙	1通	26.1×103.7	長州征討状況につき、 郷方川添和右衛門より /藤崎氏付箋有
62	37	37	一手行軍帳	慶応2寅年6月	—	—	小横帳	1冊	16.2×17.6	中津藩隊列
63	38	38	[褒美]	(江戸期)戌2月13日	江口伝・平田大江	村山東一郎・青木小藤 太・緒方喜内(他1名)	書綴	1通	24.3×17.2	中津領堀村百姓へ島目 五貫文/福井村入合田 地につき/末尾に内山 与治右衛門・内山繁左 衛門の各有
64	39	39	[装束着用許状]	嘉永5年4月17日	神祇官統領神祇伯王殿雑 掌 奉(朱印)	三橋加賀(政英)	堅紙 虫損有	1通	46.4×59.9	怡土郡中津領淀川組 12ヶ村惣社宝満宮天満 宮他8社/30と関連
65	40-1	40-1	三領周講帳	慶応2年寅11月	—	—	堅帳	1冊	24.5×18.0	三領周講規定等/講中 連名(怡土郡・志摩郡 中庄屋等)有/付紙痕有
66	40-2	40-2	[通達](三領周講始末に つき)	壬申(明治5年)7月24 日	福岡県旧県事務懸	堤小七郎	罫紙綴	1通	26.7×19.7	「福岡県庁」罫紙
67	41-1	41	牧方金子出入御通	慶応3年卯9月	堤助左衛門(黒印)・庄崎 弥惣助(黒印)	—	堅帳	1冊	27.6×21.0	県へへ41、付番時の 誤り/裏表紙に借用証 文貼付/深江組佐波村 抱西ヶ谷牛牧場
68	41-2	41	自江戸到来御勅書并将 軍様御請書之写	(江戸期)	—	—	書綴	1綴	25.0×16.8	県へへ41、付番時の 誤り/文久4年攘夷決行 の勅書及将軍請書写
69	42-1	42	[覚](坂下門外変につき)	(江戸期カ)	—	—	継紙	1通	21.0×52.0	県へへ42/42-1～5県 封筒に一括/坂下門外 の変概況・下手人等/ 藤崎氏付箋有
70	42-2		[長州征伐各攻口配置 書上写]	元治元年甲子歳9月上旬 写之	(「直澄蔵書」)	—	書綴	1綴	12.3×33.7	県へへ無/42-4と類似/ 藤崎氏付箋有
71	42-3		[書状]	(江戸期)5月	松平修理大夫(島津忠義) 家来 嶋津将監・二階堂 部・猪飼順之助	—	継紙	1通	15.7×47.2	県へへ無/生麦事件に 関し国許の意向/藤崎 氏付箋有
72	42-4		[長州征伐各攻口配置 書上]	(江戸期)	—	—	継紙	1通	16.0×165.2	県へへ無/長州征伐時 各攻口/藤崎氏付箋有
73	42-5		昨廿三日御老中白川様 より御留主居御呼出二 而左之通御達并御口達 之写	(江戸期)8月	—	—	継紙	1通	13.6×82.2	県へへ無/毛利談路(淡 路)・吉川監物らに大 坂出頭を命じる
74	43	43	長崎西濱之町御制札所 江張紙写	(江戸期)	—	—	書綴	1綴	26.6×19.6	似非尊王攘夷を糾弾す る落書
75	44	44	太政官御触書写	明治元年辰10月	—	—	堅帳	1冊	25.1×16.4	表紙に「二番」と有
76	45	45	[書状]	(明治元年)10月24日	六兵衛	(堤)小七郎	継紙	1通	15.6×151.6	戊辰戦争の状況/藤崎 氏付箋有
77	46	46	尾道辺風聞	(江戸期、慶応2年カ)	—	—	継紙 後欠カ	1通	12.4×139.4	備中騒動(倉敷代官所 襲撃等)
78	47	47	[新政府役職書上]	(明治期)	—	—	継紙 継外れ有	1通	16.1×134.6	
79	48	48	[達写](藩治職制)	(明治期)10月	行政官	—	継紙	1通	13.7×99.6	「十月廿九日御達」と 有/藤崎氏付箋有
80	49	49	此度東京より被下候写	(明治期、明治2年カ)	—	—	継紙	1通	13.4×135.0	戊辰戦争賞典書上/ 「巳六月二日 去辰御 出兵御賞」と有
81	50-1	50	鎮懐石八幡宮大神略縁	(近世～近代)	—	—	堅帳	1冊	27.0×19.8	50-1～8同折/県へへ50
82	50-2		[鎮懐石八幡宮調書]	(近代)	—	—	堅帳	1冊	28.0×20.0	県へへ無/調書の写又 は控
83	50-3		[深江神社由緒草稿]	(近代)	(藤崎森吉)	—	罫紙	3枚	24.3×33.4	県へへ無/訂正紙有/ク ラゲ痕有
84	50-4		[深江神社由緒草稿]	(近代)	(藤崎森吉)	—	罫紙綴	1綴	24.5×16.9	県へへ無/50-3下書カ
85	50-5		[鎮懐石八幡宮関係記 事抄]	(明治)38年5月18日	空閑広海	区長 泉直枝	罫紙綴	1綴	24.5×17.2	県へへ無/記紀等より 関係記事抜粋
86	50-6		[鎮懐石八幡宮調書控 等綴]	明治39年6月日	空閑広海	—	罫紙等綴	1綴	28.2×20.5	県へへ無/表紙に朱書 「控」/絵図有
87	50-7		[正覚寺由緒草稿]	(近代)	—	—	一紙 一部破損	1通	24.5×32.8	県へへ無/綴外れカ
88	50-8		[深江神社絵図]	(近代)	—	—	一舗	1舗	39.6×54.8	県へへ無/裏にペン書 「深江神社絵図」と有
89	51	51	乍恐以書付奉願上候事	(明治3年)午8月	松末村庄屋佐惣太(黒印) ・武村庄屋治郎吉(黒印) ・飯原村庄屋安右衛門 (黒印)(他25名)	深江御役所	継紙	1通	23.3×296.7	雑税廃止につき上申/ 藤崎氏付箋有
90	52	52	[達](銀と金札引替につ き)	(明治2年)巳12月	奥平丈右衛門	深江組・長野組村々	継紙 冒頭破損	1通	27.5×227.8	太政官達(巳10月付)の 通達/藤崎氏付箋有
91	53	53	[達](金銭相場建及び諸 物価等につき)	(明治2年)巳3月6日	須田五郎右衛門・奥平丈 右衛門・菅沼孫右衛門・ 森源蔵	深江組・長野組村々	継紙	1通	27.5×243.2	大坂府達(2月付)の通 達/付紙有/藤崎氏付 箋有
92	54	54	[達](諸寺官位住職参内 等諸願につき)	(明治3年)午6月	立木深・奥平丈右衛門・ 菅沼一角(他2名)	—	書綴	1通	24.6×17.4	太政官布告(4月付)の 通達
93	55	55	[太政官布告綴]	(明治3年)庚午11月 ～(同4年)辛未7月	—	—	書綴	1綴	24.4×16.7	神社規則制定につき取 調等
94	56	56	[布達綴]	(明治5年)壬申6月 ～明治6年8月3日	福岡県/立木(兼善)福岡県 令 等	—	罫紙綴	1綴	24.3×17.4	変死者始末等につき
95	57	57	犯罪書(竹槍一揆)	明治6年7月	同郡(怡土郡)同村(深江 村)保長木下利助(黒印) (他3名)・副戸長淀川良 蔵(黒印)	—	罫紙綴	1綴	24.2×16.2	付紙有/封筒で一括し た新聞切抜2点(藤崎氏 所蔵竹槍紹介/平成元 年6月1日付糸島新聞・ 同2日付読売新聞)同封

	整理 番号	目録 番号	名称	年代・日付	差出・作成	宛所	形態	数量	法量 (縦×横)	備考
96	58	58	[訓諭](竹槍一揆未につき)	(明治6年カ)	—	戸長	罫紙綴	1通	24.0×16.7	「第十六大区調所」罫紙/藤崎氏付箋有
97	59-1	59	第十六大区 小区分画改正村高戸数調	明治7年7月9日	堤 控	—	罫紙綴	1通	24.0×16.5	第十六大区内を18小区に分割/「第十六大区調所」罫紙
98	59-2		請取(新聞紙代)	(明治期)7月24日	昨朗新社(朱印)	十六大区調所	切紙	1枚	16.1×17.9	59-1中、5丁と6丁の間に有
99	60	60	[記](早稲田書上之儀二付同他)	明治7年7月9日～30日	(堤小七郎)	—	罫紙綴	1綴	24.2×16.6	公用日記、戸長作成書類の書式・県布達等も記録/「第十六大区調所」罫紙
100	61	61	[書簡綴]	(明治7年)2月2日～3月3日	(空閑)汀 他	堤小七郎	綴	4通	25.8×34.2	県カ*61/佐賀の乱関係/4通同綴/藤崎氏付箋有
101	62-1	62	[佐賀の乱罪状等書上]	(明治期)	—	—	横帳	1冊	14.1×38.7	県カ*62/佐賀の乱関係者罪状、辞世和歌等/藤崎氏付箋有/62-1～19県封筒にて一括、62-2～19県カ*6無
102	62-2		[書簡]	(明治7年)2月28日	(空閑)汀	(堤)小七郎	継紙	1通	15.2×18.8	帰宅につき
103	62-3		[書簡]	(明治7年カ)2月21日	肥作	堤(小七郎カ)	継紙	1通	15.7×41.9	官軍の動向につき/今宿・飯場口・田代口
104	62-4		[書簡]	(明治7年)3月2日	(空閑)汀	(堤)小七郎	継紙	1通	15.4×54.3	佐賀の乱状況等
105	62-5		[覚書](唐津旧藩士族岩崎氏応接)	(明治7年カ)	(堤小七郎カ)	—	折紙	1通	27.8×37.7	応接次第届出草稿カ/綴外れカ/鉛筆・赤鉛筆書入有
106	62-6		[覚書](唐津・佐賀の状況等)	(明治7年カ)	(堤小七郎カ)	—	切紙	1通	15.7×38.0	赤鉛筆記入有
107	62-7		風聞御届	明治7年2月2日	第十六大区戸長 堤小七郎	福岡県権参事 山根秀介	罫紙 一部破損	1枚	24.3×32.7	佐賀風聞につき報告控/「第十六大区調所」罫紙
108	62-8		軍銃献納願	明治10年9月8日	堤小七郎(朱印)	福岡県令渡邊清	罫紙綴	1通	24.7×17.3	所持軍銃二挺献納/明治10年12月14日付朱筆奥書有、「福岡県」朱印
109	62-9		博多より佐賀江参居候者日記之写	(明治期カ)	—	—	罫紙綴	1綴	24.2×16.4	(明治7年)2月15日～23日分/佐賀の乱状況等/62-10と同じ/「第十六大区調所」罫紙
110	62-10		博多より佐賀江参居候者日記之写	(明治期カ)	—	—	罫紙綴	1綴	24.6×16.5	(明治7年)2月15日～23日分/佐賀の乱状況等/藤崎氏付箋有/「第十六大区調所」罫紙
111	62-11		[書簡等]	(明治7年)2月25日	(神代)粹	(堤)小七郎	罫紙	3枚	23.9×32.1	佐賀の乱関係/書簡(飯場口防禦等)他/3枚同折/「第十六大区調所」罫紙
112	62-12		[達](志摩郡今宿に斥候場所設置につき)	(明治期)	山根福岡県権参事	第十五大区戸長中	罫紙綴	1通	24.3×16.5	斥候場所規則等
113	62-13		[書簡等綴]	(明治7年)2月26日～3月2日	東郷山麓 他	堤小七郎 他	綴	6通	24.6×58.0	佐賀の乱関係/6通同綴(うち包紙1点)
114	62-14		[布告](佐賀県下之賊徒征討)	明治7年2月19日	山根福岡県権参事	第十六大区戸長中	罫紙	1枚	23.7×31.6	内務省布達(同日付)につき/「第十六大区調所」罫紙
115	62-15		記(人夫供出)	(明治7年)2月28日	平田俊十郎(朱印)	第十六大区御調所	継紙	1通	24.6×58.0	同日付堤宛調所詰合中書簡を継ぐ
116	62-16		[書簡等綴]	(明治7年)3月2日	東郷(山麓) 他	堤(小七郎)	綴	1綴	27.4×20.0	佐賀の乱関係/書簡/3通同綴
117	62-17		[願](人夫の他区割付につき)	(明治7年2～3月頃カ)	神代粹・堤小七郎	曲淵■詰 会計方御中	罫紙	1枚	24.2×32.1	佐賀の乱に係る人夫供出/草稿カ/「第十六大区調所」罫紙
118	62-18		[書簡]	(明治7年)3月3日午前	(東郷)山麓	(堤)小七郎	一紙	1通	25.5×33.8	鹿家村内篝火五ヶ所設置
119	62-19		[書簡等綴]	(明治7年)2月20日～28日	三苦 他	堤(小七郎) 他	綴	3通	24.6×36.6	佐賀の乱関係/3通同綴
120	63	63	[諸届・通達等綴]	(明治5年)壬申4月～7年12月	—	—	綴	1綴	28.1×23.7	通達及び県への願・届出等の綴/主に堤小七郎関係
121	64-1	64	記(地誌編纂につき村々調査項目)	[明治初年頃]	—	—	罫紙綴	1通	26.4×19.4	市井村里井道程等/「福岡県庁」罫紙/64-1・2県封筒にて一括
122	64-2		道路分類類型図	[明治期カ]	—	—	一紙	1点	27.1×38.7	県カ*6無/道路・府・鎮台等の凡例を示す
123	65	65	[建白書草稿]	明治7年8月3日	第十六大区戸長 堤小七郎	福岡県令 立木兼善	罫紙綴	1通	24.4×16.2	新旧暦混清につき
124	66	66	佐賀県検見御規則写	[明治期]	—	—	罫紙綴	1通	24.4×16.2	庚午(明治3年)7月付検見規則、届雛形/「第十六大区調所」罫紙
125	67	67	巡回日誌	明治8年亥3月22日出発	堤	—	小横帳	1冊	13.5×19.8	3月22日～7月2日分/粕屋郡地租改正測量従事
126	68	68	地券御渡奉願候事	明治6年5月	堤小七郎(黒印)/(奥書5名)	福岡県権令沢簡徳(他2名)	罫紙綴	1通	27.2×19.3	筑前国怡土郡松末村之内
127	69	69	記(受取)	(明治期カ)寅旧12月	米屋利吉郎	堤御氏	継紙	2通	15.2×190.2	2通を欄付
128	70	70	筑前国土木費之儀二付上申	明治13年8月13日	宗像郡徳重村石松要一・怡土郡深江村堤小七郎	福岡県令渡邊清	罫紙綴	1通	28.1×20.2	草稿カ/70、71-1、71-2-1～3を県封筒にて一括

	整理 番号	県目録 番号	名称	年代・日付	差出・作成	宛所	形態	数量	法量 (縦×横)	備考
129	71-1	71	筑前国土木費之儀再願	明治13年8月11日	宗像郡徳重村石松要一 (朱印)・怡土郡深江村堤 小七郎(朱印)	福岡県令渡辺清	罫紙綴	1通	28.1×20.2	同日付朱筆奥書有、福 岡県令渡邊清(朱印)
130	71-2-1		筑前国土木之儀二付請 願 他綴	明治13年7月23日 ～8月13日	福岡県筑前国柏屋郡人民 惣代下原村平民田代巻二 郎(他19名) など	令渡邊清代理 福岡県少 書記官 森醇 など	書綴 印刷	1綴	20.3×14.2	県へへ無/他に土木事件 上京始末等を綴る/表紙 に墨書「堤小七郎」有
131	71-2-1		[意見書](府県会規則改 正)	明治14年10月13日	—	元老院議長大木喬任	書綴 印刷	1通	20.5×14.0	県へへ無/表紙に墨書 「堤」有
132	71-2-3		[請願等綴](福岡県土木 費につき)	明治13年6月28日 ～8月18日	福岡県会議長 中村耕介 など	内務卿 松方正義 など	書綴 印刷	1綴	18.3×12.9	県へへ無/他に土木事件 第一報、第二報を綴る /表紙に「津々美」印有
133	72	72	万日記	明治10年8月 日	塩田用	—	小横帳	1冊	12.1×16.4	酒販売等記録/末尾に 「売仕切」(10年9月7 日付)を欄付
134	73	73	修好条規	明治9年2月26日	大日本国特命全権弁理大 臣黒田清隆(他3名)	—	罫紙綴	1通	24.0×16.5	日朝修好条規の写
135	74	74	頼母子講帳	明治15年旧2月	堤小七郎	—	縦帳	1冊	28.1×20.6	付紙有
136	75	75	明治十九年度町村費支 出予算議按	(明治19年)	—	—	罫紙綴	1通	24.2×16.7	戸長役場諸費予算/草 稿/「役場用紙」罫紙/ 75・77・78県封筒に一 括
137	76-1	76-1	汽船汽讀二付御免状御 鑑札御書換願	明治14年8月1日	売讀主下田一直(朱印)・ 買受主津田武右衛門(朱 印)(他1名)	大阪府知事建野郷三宛	罫紙綴	1通	26.0×18.3	西洋形汽船築丸売渡 /同日付朱書有、大阪府 知事建野郷三/76-1・2 県封筒に一括
138	76-2	76-2	西洋形汽船売渡確証	明治14年7月27日	売主牧文四郎代理下田一 直(朱印)(他請人1名・奥 書1名)	津田武右衛門	継紙	1通	27.8×95.0	朱書「第八号」/印紙有
139	77	77	契約書	明治26年12月17日	調停委員津田守彦(他46 名)	—	罫紙綴	1通	24.3×16.6	長糸村二股分水につき
140	78	78	敷願書	明治33年11月	糸島郡深江村人民惣代	—	罫紙綴	1通	25.4×17.4	県道変更につき反対陳 情
141	79	79	国有原野払下記念書	明治42年月 日	一貴山村大字一貴山評議 員有田三太郎(朱印) (他22名)	—	罫紙綴	1通	26.1×19.2	県へへへ79/一貴山字須 田野原野/79及び80-1 ・2県封筒に一括
142	80-1	80	船越越南海面埋立願書 完	明治28年9月18日	石橋重助(他7名)	県知事岩村高俊	罫紙綴	1綴	24.1×16.6	県へへへ80/草稿/筑前国 志摩郡小富士村大字船 越南海面
143	80-2		国有原野払下記念書 (草稿)	(明治42年頃)	—	—	書綴	1通	24.3×16.8	県へへへ無/79の草稿
144	81	81	送詞	明治22年5月15日	堤雄三郎	—	一紙	1通	29.0×36.1	津田守彦国會議員送別
145	82	82	下松末人民転籍二係ル 伺書及取調書類仮綴	明治25年7月1日 ～12月15日	(怡土志摩早良郡役所) 第一課 他	深江村長日巡新 他	罫紙綴	1綴	24.7×16.7	「深江村役場用紙」・ 「怡土志摩早良郡役 所」等罫紙
146	83	83	永々譲渡証文	明治6年11月	淀川村本人淀川良蔵(黒 印)・保長淀川勘四郎(黒 印)・右同中園源六(黒印)	堤小七郎	継紙	4通	24.5×49.5	県へへへ83/他に借用証 等(県へへへ無、罫紙綴、 3点)県封筒に一括
147	84	84	誤証文之事	(江戸時代)丑2月	深江町勘右衛門(黒印)/ (奥書他2名)	深江村源治	一紙	1通	27.4×32.3	其元御抱の山で枝伐に つき詫ひ/ 包紙(38.6×26.7)有
148	85	85	極内々福岡風聞到来	(明治初年)7月12日	正右衛門	(堤カ)助右衛門	継紙	1通	15.9×97.2	贗札事件後の福岡の風 聞/藤崎氏付箋有
●86	86	86	堤家系図他							(家系図・堤小七郎履 歴書)
149	87	87	[受取証類]	明治9～15年	深江村役場 他	空閑順吉 他	切紙等	76点	—	県封筒に一括
150	88	88	上詞	安政4年丁巳葉月上西 日	松平阿波守	れ組三番菊矢川仙吉	一紙 木版・墨書	1点	33.4×45.1	高杉晋作・平野次郎・西 郷吉之助手配書/後世 の偽作
151	89	89	人相覚	—	—	—	一紙 木版	1点	24.5×35.1	平野次郎・高杉晋作・ 西郷吉之助人相/後世 の偽作
152	90	90	[書状]	9月13日夜	西郷吉之助	月照	一紙	1点	21.1×127.2	後世の偽作/封筒(本文 同筆、22.8×22.4)、 包紙(48.1×42.5)有
153	91-1	91	[書状]	(明治期)10月23日	今津小十郎	堤小七郎	継紙	1通	16.4×192.4	県合併・豊津県一揆等 /藤崎氏付箋有
154	91-2-1	91-2	[書状]	(江戸末期～明治初年 頃)極月25日	高向二頭太夫光世(花押)	堤助右衛門	継紙	1通	17.5×52.0	伊勢御師/包紙(24.9× 33.9)有/藤崎氏付箋有 /91-2-1・2県封筒に一 括
155	91-2-2	91-2	[書状]	(江戸末期～明治初年 頃)11月5日	末松政右衛門東種(花押)	堤助右衛門	継紙	1通	16.5×65.4	祝儀/藤崎氏付箋有
156	92	92	奉納式内十九社大神	文久2年正月元旦	江上栄之進大蔵武要	—	継紙	1通	16.4×83.6	子負ヶ原他へ奉納和歌 19首/藤崎氏付箋有
157	93	93	外内神社再興縁起	明治21年3月16日	空閑広海(他13名)	—	罫紙他綴外れ 一部破損	12枚	24.0×16.7	草稿/もと罫紙綴/鉛筆 落書き有
158	94	94	元祖明照大師七百回御 忌決算報告書	大正7年11月	正覚寺住職・全 総代	—	仮綴(ステプラー) 印刷	1冊	23.2×16.4	もと書冊(5丁)、保存の ためステプラー除去
●95	95	95	堤小七郎辞令綴	壬申2月より明治18年			書綴			
●96	96	96	褒状	明治11年6月4日	福岡県	空閑汀				(学事勉勵につき)
●97	97	97	辞令	明治18年10月27日	福岡県	堤雄三郎				(収税課勤務申付)

	整理 番号	県目録 番号	名称	年代・日付	差出・作成	宛所	形態	数量	法量 (縦×横)	備考
159	98	98	[褒状]	明治20年8月3日	福岡県知事安場保和(朱印)	怡土郡深江村人民惣代 堀田太平	一紙	1通	22.9×31.2	県道修繕出夫につき
160	99	99	[唱歌歌詞]	(近代)	—	—	縦紙	1通	18.1×117.3	糸島の名所旧跡/草稿
161	100	100	[通知](種痘医派遣)	(近代)8月7日	吉富洞雪・安田伸之	堤小七郎	一紙	1通	16.3×26.7	医員5名
162	101-1	101	当選告知書	大正5年4月15日	深江村長進藤英太郎(朱印)	藤崎森吉	罫紙	1通	24.3×32.8	県ハ ^レ 101/大字深江区 長当選/「深江村役場」 罫紙/101-1・2県封筒に 一括
163	101-2		推薦状	大正2年5月1日	帝国在郷軍人会深江村 分会(朱印)	藤崎森吉	一紙	1通	18.8×25.7	深江村分会特別会員
164	102-1	102	[辞令]	明治38年6月16日	愛国婦人会会長侯爵夫人岩 倉久子(朱印)	藤崎ケム子	一紙	1通	23.0×30.2	県ハ ^レ 102/福岡支部幹 事嘱託/102-1～3県封 筒に一括
165	102-2	102	[褒状]	明治38年12月23日	愛国婦人会福岡支部糸島 郡幹事部長 原田しか子	幹事 藤崎げん子	一紙	1通	22.6×28.7	県ハ ^レ 102/格別勉勵に つき
166	102-3	102	[辞令]	明治22年5月19日	深江村村会議長 日巡新 (朱印)	淀川金吾	罫紙	1通	24.3×17.1	県ハ ^レ 102/深江村役場書 記選任/「役場用紙」 罫紙
167	103	103	[地券綴]	明治10年7月1日 ～明治20年1月27日	福岡県(朱印) 他	持主空閑順吉 他	綴	6通	—	6通紙綴で一括
	104	104	[書翰類]							県緊急古文書調査印 (「104」)のある封筒 7点(104-1～7)に小分 けされている書簡類を、 さらに県ハ ^レ 104貼付 された県立図書館封筒 で一括
168	104-1		[堤小七郎関係書簡]	(近代)			封筒入一括	31通		堤小七郎発給・受給書 簡等/内18点は封筒の み/封筒(鉛筆書「堤小 七郎」)で一括
169	104-2		[堤雄三郎関係書簡]	(近代)			封筒入一括	14通		堤雄三郎発給・受給書 簡等/内6点は封筒の み/封筒(鉛筆書「堤雄 三郎」)で一括
170	104-3		[藤崎森吉関係書簡]	(近代)			封筒入一括	17通		藤崎森吉宛書簡等/内6 点は封筒のみ/封筒(鉛 筆書「藤崎森吉」)で 一括
171	104-4		[藤崎藤兵衛他関係書 簡]	(近代)			封筒入一括	5通		藤崎藤兵衛宛書簡等/内 1点は封筒のみ/封筒(鉛 筆書「藤崎藤兵衛他」) で一括
172	104-5		[堤大三郎他関係書簡]	(近代)			封筒入一括	4通		堤大三郎より藤崎森吉 宛絵葉書等/封筒(鉛筆 書「堤大三郎より藤崎 氏への手紙(ほか)」)中 さらに封筒で一括
173	104-6		[電報類]	(近代)			封筒入一括	13通		封筒(鉛筆書「電報」) で一括/内1通書簡混入 有
174	104-7		[藤崎げん関係書簡]	(近代)			封筒入一括	9通		藤崎げん宛書簡等/封 筒(鉛筆書「藤崎げん (子)」)で一括
175	105-1	105	[布達]	明治7年8月	立木福岡県令		書綴 印刷	1通	19.8×13.3	県ハ ^レ 105/太政官達によ り/達式註進条例/ 「福岡県」用紙/105-1 ～20県封筒にて一括、 105-2～20県ハ ^レ 105 無
176	105-2		太政官日誌	明治辛未(4年)6月17 日	—	—	書綴	1綴	24.3×16.5	明治辛未第38号/菊御 紋禁止/行旅之輩病氣之 節取扱方規則/
177	105-3		[布告綴]	壬申(明治5年)10月～ 11月	塩谷参事・水野権参事・ 団尚静	—	書綴 木版	1綴	22.2×15.3	学問推奨につき2件の 綴/「福岡県布告」用 紙
178	105-4		[布達]	辛未(明治4年)7月	民部省	—	一紙	1通	24.0×32.9	駅通の儀につき/綴外 れカ
179	105-5		[布告]	明治6年11月5日	右大臣岩倉具視	—	書綴 印刷	1通	21.9×14.9	第362号/出訴紀元規則 /「福岡県布告」用紙
180	105-6		[布告]	明治7年1月19日	太政大臣三条実美	—	一紙 印刷	1通	22.0×29.5	第6号/地所質入書入規 則9条改正/付箋有/ 「福岡県」用紙/綴外 れカ
181	105-7		[布告]	明治7年9月3日	太政大臣三条実美	—	書綴 印刷	1通	28.3×15.5	第90号/郵便為替規則/ 「福岡県布告」「内務 省」用紙
182	105-8		[布達]	明治7年11月	県令渡邊清代理福岡県参 事山根秀介	—	書綴 印刷	1通	22.3×14.9	徴兵名簿取調につき
183	105-9		[布達]	明治7年11月12日	福岡県令渡邊清	—	綴外れ 前欠 印刷	1通	25.7×19.2	官員等不正の行跡確実 ならば申出るべし
184	105-10		告諭之文	明治7年12月	福岡県令渡邊清	—	書綴 印刷	1通	22.1×14.5	租税の意義につき
185	105-11		[布達]	明治11年10月5日	福岡県令渡邊清	各区々戸長	書綴 印刷	1通	20.2×14.3	乙第114号/酒造営業に つき/酒造営業人心得 書、酒類税則
186	105-12		舶来品倭約示談之簡条	明治13年 月 日	共愛会福岡本部	—	書綴 印刷	1通	21.1×14.4	
187	105-13		[課税問答集]	(近代)	—	—	綴外れ 印刷	4枚	24.0×16.0	もと書綴

	整理 番号	県目録 番号	名称	年代・日付	差出・作成	宛所	形態	数量	法量 (縦×横)	備考
188	105-14		福岡県諸上納并帳簿申 達月表	(近代)	—	—	一紙 印刷	1枚	27.4×39.4	各月の租税納入・諸帳 簿進達等期限を示す
189	105-15		[官級別旅費月給一覽]	(近代)	—	—	切紙	1枚	19.3×14.0	
190	105-16		明治八年十二月分月給 受取目録	(明治8年12月)	十二等出仕 堤小七郎	—	算紙	1枚	23.9×32.2	月給・宿料・旅費受取/ 「福岡県」算紙
191	105-17		衛生会議事規則	(近代)	—	—	書綴 印刷	1通	20.3×14.2	朱筆「第壹号議案」
192	105-18		廿八年十二月十六日酒 価左之通決議	明治28年12月	一市四郡酒造組合事務 所(朱印)	—	一紙 印刷	1通	24.2×16.8	古酒・新酒卸売価格/ 12月20日施行
193	105-19		十二月十六日秘密決定	明治28年12月	一市四郡酒造組合事務 所(朱印)	—	一紙 印刷	1通	24.0×16.5	生酒売価・小売酒代価 等
194	105-20		証(請取)	明治16年1月28日	安河内純一郎(朱印)	西川繁・空閑汀	算紙	1通	24.0×31.6	親族原キク給金
195	106	106	調査録	明治38年7月	深江研究会	—	書冊 印刷	1冊	20.4×14.1	活動調査記録/村誌に 類する
196	107-1	107	福岡県官員録	明治7年5月	—	—	小横帳 印刷	1冊	11.4×17.9	県庁*107/明治7年分 /107-1・2県封筒に一括
197	107-2	107	福岡県官員録	明治8年5月改	—	—	小横帳 印刷	1冊	11.7×17.1	県庁*107/明治8年分
198	108	108	福岡県糸島郡福吉村勢 一覽表	昭和3年3月調	—	—	一紙 印刷	1枚	31.1×38.7	
199	109-1	109	福岡肥料会社規則	(近代)	—	—	書綴 印刷	1通	20.3×14.3	県庁*109/109-1～6 県封筒に一括
200	109-2		大日本山林養樹会社創 立意見書	明治14年4月	大日本養樹会社創立発起 人総代板井弥五平	—	書冊 印刷	1冊	18.2×12.0	県庁*109
201	109-3		藤雲館創立寄附帳	明治14年4月	藤雲館創立同志総代三木 隆助(他2名)	—	書綴 印刷	1通	20.3×14.3	県庁*109/朱書「乙第貳 拾壹号」
202	109-4		藤雲館創立寄附帳	明治14年4月	藤雲館創立同志総代三木 隆助(他2名)	—	書綴 印刷	1通	20.3×14.3	県庁*109/朱書「乙第 三拾三号」
203	109-5		湯室規則等綴	明治12年	長崎県杵島郡柄崎温泉組 々長宮原忠頼	—	綴 印刷	1綴	19.0×12.9	県庁*109/規則、効用、 柄崎温泉略記等
204	109-6		出征軍人ノ子弟ニシテ 小学児童タルモノ待遇 法	(近代)	—	—	一紙 印刷	1通	24.3×31.2	県庁*109
205	110	110	田中浜渥水論願書写	文化13年	筑前国怡土郡田中村庄屋 善兵衛・同断濱渥村庄屋 寿助	高木作右衛門様御役所	帳外れ	5枚	25.3×18.2	もと豎帳
206	111	111	意見報告書	明治18年3月	福岡県会常置委員	—	書冊 印刷	1冊	20.1×13.9	明治十八年度予算・營 業税雑種税課目課額等 に関する議案への意見
207	112	112	布達案(菜舖并菜種商 規則)	(明治15年)	(福岡県)	—	書綴 印刷	1通	20.4×14.2	「第五号議案」
208	113	113	地租改正御旨意書	明治8年3月	福岡県	—	書綴 木版	1通	21.8×15.6	「福岡県」用紙
209	114-1	114	布告全報 第73号	明治10年1月18日刊行	国文社	—	書冊 印刷	1冊	17.9×12.7	県庁*114-1、付番時 の誤カ/太政官布告1～ 6号等
210	114-2	114	布告全報 第74号	明治10年1月23日刊行	国文社	—	書冊 印刷	1冊	18.2×13.1	県庁*114-2、付番時 の誤カ/太政官布告7号 ・内務省乙2～3号等
211	114-3	114-2	勉強雑誌 第1号	明治13年3月2日	仮本局 豊田舎(福岡)/編 集并出版人 松田敏足	—	書冊 印刷	1冊	18.5×12.1	県庁*114、付番時の 誤カ
212	115	115	民間雑誌 第1編	明治7年2月	福沢諭吉・小幡篤次郎著 /慶応義塾出版社	—	書冊 印刷	1冊	18.6×12.4	
213	116	116	立行叢談 第2号	明治12年7月25日	—	—	書冊 印刷	1冊	17.8×11.7	
214	117	117	[藩札]	(江戸期)	—	—	藩札	11枚	—	状態不良/肥前田代、 肥前佐嘉、久留米等/ 反古封筒を転用した帯 (付紙「藩札」)で一括
215	118	118	無税諸品觸売鑑札	明治21年1月13日	怡土志摩早良郡役所(焼 印)	福岡県筑前国怡土郡福 井村 小島善六	木札 墨書	1枚	9.1×6.0	第1504号/焼印の他に 朱印刷印有
216	119	119	旧金銀貨幣價格表	明治7年8月	大蔵卿大隈重信	—	書綴 印刷	1通	20.2×15.4	新旧貨幣の価格比較
217	120	121	[布告綴]	明治7年9月5日/明治7 年10月28日	太政大臣三条実美/令代 理山根福岡県参事	—	綴 印刷	1綴	22.1×14.8	県庁*120、県目録の 誤カ/第93号太政官布 告(新旧貨幣交換)及び 福岡県布達(旧藩札交 換)の綴/前者は「福岡 県布告」用紙
218	121	120	旧銅貨品位	(明治7年カ)	—	—	書綴 印刷	1通	22.4×14.7	県庁*121、県目録の 誤カ/旧銅貨と新貨幣 の交換比率
219	122	122	珍銭奇宝古銭一覽 附リ 値段付	大正6年2月1日発行	著作兼発行者 柏原政次 郎/印刷者 増田熊次郎	—	一紙	1枚	39.7×53.8	古銭カ如ク
220	123	123 (追)2	糸島蕃客番附	大正4年2月調	(二級初段瀬戸曉)	—	一紙 印刷	1枚	38.8×53.8	裏に手割表有/封筒 (27.1×10.4)有、封筒 表題は「福岡県糸島郡 蕃客番附」/県目録で は重複
221	124	124	太宰府博覧会票告	明治7年7月	博覧会社	—	書綴 印刷	1通	22.0×15.4	明治7年9月20日より 10月19日まで太宰府 にて博覧会開場
222	125	125	[長崎図]	寛政8丙辰歳	勝山町 富島屋(長崎)	—	木版色刷	1枚	35.2×47.3	—
223	126	126	名護屋城豊太閤陣營之 図	昭和4年8月	編輯者 今井安太郎/発行 者 名古屋経一/発行所 広 沢禅寺	—	パンフレット 印刷	1枚	38.7×26.7	包紙有、包紙表題「肥 前名護屋城陣營之図」 /包紙に126、本紙に書 -18の県庁*126/県目録は 大正13年9月とするが 誤カ

	整理 番号	県目録 番号	名称	年代・日付	差出・作成	宛所	形態	数量	法量 (縦×横)	備考
224	127	127	凱旋観艦式明細一覧	明治38年10月	近事画報社(東京)	—	一紙 印刷	1枚	16.5×47.1	近時画報臨時増刊凱旋 観艦画報第71号附録
225	128	128	東都芝万松山泉岳禪寺 略図	(近代)	泉岳寺藏板	—	木版墨刷	1枚	32.4×45.7	泉岳寺境内・赤徳浪士 墓地の略図
226	129-1	129	福岡日日新聞 第258号	明治13年6月17日	福岡日日新聞社	—	新聞 印刷 一部 破損	1部	39.0×28.3	129-1～3県封筒に一 括
227	129-2	129	福岡日日新聞 第767号	明治15年4月5日	福岡日日新聞社	—	新聞 印刷	1部	44.0×31.2	
228	129-3		東京横浜毎日新聞 第3245号	明治14年10月8日	毎日新聞社	—	新聞 印刷	1部	49.8×37.3	
229	130	130	江戸図鑑綱目 坤	元禄2春	図量作者 画工石川氏俊 之/板元 相模屋太兵衛	—	木版彩色 一部 破損	1冊	133.2×138.2	表紙に藤崎氏付紙「元 禄二年 江戸旧図」有
230	131	(追)1	新貨幣旧藩製造楮幣価 格比較表	明治4年辛未12月	大蔵省	—	一紙 木版	1枚	32.6×24.4	県外*#書-19/上部に 「大蔵省御達比較表 写」
231	132	(追)3	諸国大名帳 (慶應2年 現在)	(近代)	—	—	書冊切抜 印刷 一部破損	2枚	20.2×21.4	県封筒に「書-20」と 有/書冊(雑誌類カ)から の切抜
232	133		[天明武鑑]	天明4年甲辰年	江府書林千鐘房 須原屋 茂兵衛藏版	—	縦本 木版	1冊	16.1×11.8	県外*#書-1/題簽痕有/ 内容より巻三カ
233	134		水性相生名乗	寛政2庚戌正月吉旦	鐘山宜省考訂(朱印)	久我藤左衛門	切紙	1通	18.8×33.5	県外*#書-2
234	135		安産手引草	弘化3年午の夏	横地見碩 述(他門人6名)	—	縦帳 木版	1冊	24.4×16.6	県外*#書-3
235	136		善光寺如来略縁記	文化6年巳2月刻成	作者 五車 著/(版元)吉田 屋新兵衛・菱屋孫兵衛	—	縦帳 木版	1冊	27.0×18.4	県外*#書-4
236	137		義経腰越状	文政3庚辰庵再刻	相州鎌倉郡腰越 琉璃峯 万福寺藏板	—	縦帳 木版	1冊	31.0×22.9	県外*#書-5/表紙に満福 寺朱印有
237	138		新板消息往来 全	(江戸期)	墨屋吉兵衛板	—	縦帳 木版	1冊	20.8×14.8	県外*#書-6
238	139		衆善堂養生話	(明治期)	衆善堂(東京)岸田吟香	—	冊子 印刷	1冊	17.7×11.6	県外*#書-7/表紙に 「怡土郡深江堤様行 博多中嶋五葉堂」と墨 書有
239	140		古今斎伊呂波歌 よミ 人しらす	(近世～近代)	—	—	折本 墨書 縦外 れ有 後欠	1帖	18.1×16.6	県外*#書-8
240	141		[伊勢暦](嘉永7年)	嘉永7年	伊勢度会郡山田 中北外 記	—	縦紙 木版 後欠	1点	25.6×121.8	県外*#書-9/もと折 本カ
241	142		[薬広告]	(近世～近代)	精龍門(大坂)丁子屋佐七	—	一紙 木版	1枚	23.6×30.9	県外*#書-10
242	143		早引勝負附	(近代)	板元万石工門(大阪)	—	一紙 木版	1枚	34.4×47.4	県外*#書-11
243	144		象頭山什物録 時安政 七庚申仲春開帳	庚申(安政6年)3月	象頭山執事/成功堂(讃岐) 版	—	一紙 木版 虫損 有	1枚	35.8×48.9	県外*#書-12
244	145		肥前唐津名古(マ)屋新 四国案内細書	(近代カ)	龍泉寺十二世太■代	—	一紙 木版	1枚	26.9×41.1	県外*#書-13/名護屋城 陣跡等
245	146		米穀油相場附及気配 第1954号	明治16年11月21日	持主兼編輯人 小寺吉■/ 発売所 広報舎(大坂)	—	折紙 印刷	1部	25.0×34.5	県外*#書-14
246	147		国幣中社田島神社要覧	昭和4年7月	田島神社社務所発行	—	パンフレット 印刷	1枚	21.4×72.3	県外*#書-16/松浦田島 神社
247	148		伊藤庄兵衛氏蔵 朝鮮 古瓦塼展覧目録	昭和6年	恩賜京都博物館	—	書冊 印刷	1冊	18.6×13.1	県外*#書-17/会期昭和 6年3月15日～31日